

第一礼拝次第

メッセージ: 郭永東牧師
 プレイズ: 郭永東牧師



前奏			
頌栄	5 4 0	会衆	会衆
主の祈り			
プレイズ	「死を打ち破り」 「静まって知れ」	会衆	会衆
聖書朗読	ローマ 15: 1~13 (新約聖書 p295)	司会	司会
祈賛	1 9 4	司会	司会
メッセージ	「徳を高め」	司会	司会
祈賛	新生 5 5 6	司会	司会
献金		司会	司会
報頌	新生 6 7 2b	司会	司会
祝		司会	司会



第二礼拝次第

メッセージ: 渡真利彦文牧師
 司会: 郭永東牧師

メッセージ: 「主の栄光をあらわす」
 聖書: ヨハネ 2: 1~11(新約聖書 p.165)
 プレイズ: 「鹿のように」「御手の中で」
 賛美: 新生 5 2 3 新生 5 7 0



ファミリー礼拝

聖書: マタイ 18: 21~35
 メッセージ: 「赦された家来のたとえ」

<巻頭言>

牧師 郭永東

人は関係的な存在である。動物の中で唯一、人だけが生まれてから少なくとも1年は経たないと歩き始めない。生まれてすぐに歩けないということは、誰かの助けが必ず必要だということであり、それはその助けを与えてくれる人との人格的、情緒的な関係を形成することになる。優しく私の名前を呼んでくれる人、私に痛いところはないかと尋ねる人、私が失敗して挫折したときに、悲しそうな顔で私を抱きしめてくれる人、私に良いことがあったときに心から祝福して喜んでくれる人がいるとき、人は健康になり、完成していく。決して自分一人の力だけで生きていくことはできない。心配や悩みがあるときに思い浮かべる人がいるか、苦しむときにに行けば慰めを得るだけでなく、どうやって乗り越えればいいのかアドバイスをもらえる人がいるか、自問してみる必要がある。もしそのような人がいないなら、それは自分が今まで生きてきて、そのような温かいケアを経験したことがないということかもしれない。

もちろん、すべての人が良い関係を形成して生きていきたいが、現実はそのようではない。他者との関係を形成する際の基本的な前提は、与えたり受け取ったりすることだ。そのため、与えることに慣れていないか、受け取ることに負担を感じる人ほど、新しい人と友達になるのに困難を抱くことになる。このような関係に難しさがあるとき、諦めたい気持ちが生まれる。しかし、そのような気持ちは望ましくない。なぜなら、神は人間を創り、絶え間ない関係を通じて成長させるからだ。絶え間ない関係の最初は神との関係であり、二つ目は隣人を通じた関係である。神は私を理解し、許してくださった。それゆえ、今私たちに必要なのは次のことだ。自分と他人を理解することと許すこと。この二つが信仰を持ったクリスチャンに必要な心であることを忘れてはいけない。